

日ソ交流について、Doblotin とも話し合ひ、般々意見を述べてみました。
Lebedev 関係は彼に信子とよりと名ります。一度湯川先生、頃々芸芸(札幌方面)
所長、委員等としてソ連の関係を調べて下さるとよいと名ります。一番大事なこと、
日本の外務省に圧力をかけること、湯川先生が帰国されて多分新聞記者に
囲まれるでしょうが、その次のように話して浸すのがよいかと存じます。

"ソ連の物理学者は日本人として非常に強く交流を希望している。特にモスクワ、
科学アカデミー、文化者の人も日本人には強く希望しているが政府内(文化)
の偏見が大きいので、勤まらなくては動みにくい。日本の文部、外務省から積極的な働き
かける必要と名うので、ぜひこの希望を實現してほしい"

現在東京で政府関係の人に会ってどういふことを伝えるのかよと名ります。
8月3日はあけておきますから、御命令があれば伺道致します。

以上取り急いで用件を述べました。Max Planck は年内の似合人が多く、
申し送してあります。早くソリで落ちついて旅の疲れを休めてあります。山崎君も
元気です。湯川先生はいか皆探によろしく。

7月18日 江川正二郎

江川正二郎

P.S. Weiskopf の都合をきいておいて下さい

